

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりなき緊張感

考えよう柏の防災

Ka・Ka・Bou



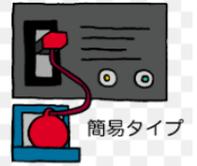
ヒマワリはまちのシンボルです

2025 (令和7) 年9月1日 / 臨時増刊

自然災害に強いまちづくりをめざしましょう!

風早北部地域ふるさと協議会

自然災害発生後の停電は 通電火災の発生リスクが高まります



阪神淡路大震災や、最近の災害としては能登半島地震(輪島市大火)で、通電火災と思われる被害で、多くの建物が焼失、犠牲者も出しました。

改めて「通電火災」とは、停電後に電気が復旧したときに起きる火災をいいます。

具体的な通電火災の実例としては…

- 地震の揺れにより電気配線の被膜に傷がつき、通電後に配線がショートして火災発生
- 通電時に火花が発生し漏れたガスに引火
- 水害時はコンセントに水分が付着するためトラッキングが発生し発火
- 分電盤が濡れたことに気づかず、通電後にショートして出火

など、地震や水害などの災害の後に思わぬ原因で火災が発生しています。通電火災は地震や水害が起きたその瞬間に起きるものではなく、住民が避難した後の無人の建物から発生するため気づきにくいのが特徴です。(全国消防点検.com より)

柏市では、こうした通電火災が要因で各地に大きな火災が広がるような二次災害に繋がらないよう、**通電火災を予防する感震ブレーカー設置費用に対する補助金支給を、今年12月26日を期限に実施**しています。詳しくは、下記 QR コードから閲覧してください。補助金支給対象として条件がいくつかありますので、必ずご一読ください。また本補助金制度の柏市担当窓口は危機管理部防災安全課ではなく、消防局火災予防課(☎7133-8792)ですので、ご注意ください。

参考として国民生活センター及び柏市から配信されています2つの啓発チラシを本号に添付します。

